



「防災体験給食」を実施します

～命を守るローリングストック～

全国各地で大規模な災害が頻発している昨今、災害時の食の問題は重要です。阪神淡路大震災をきっかけに、防災教育も進められているなか、公助に頼った食の支援では、量的・質的に被災者のニーズに応えることは難しく、適切な対応には、公助と自助が欠かせないことが指摘されています。

防災についての授業後、非常食（アルファ化米）を調理し、食べる体験をすることで、命をつなぐため「災害時の食」の備えの重要性を知り、災害時においても病気をせず健康に過ごすための食事の大切さを知る機会とします。



昨年度の献立（2023年9月1日）



昨年度授業の様子

日時 2024年8月30日（金）午前11時20分から

場所 高柳小学校（養父市八鹿町高柳 1113-1）

対象 5年生 22人

内容 栄養教諭から防災についての授業を受けた後、非常食（アルファ化米）を調理し、授業当日の給食の「ご飯」として食べる体験をする。

（熱湯を注ぎ、20分程度待つ。その間に給食の準備をする。出来上がるころに食べ始める。）

当日の献立 わかめごはん、牛乳、さばのごま焼き、切干とピーマンの昆布あえ、とり団子汁

※高柳小学校5年生22人はアルファ化米（五目ごはん）を喫食

その他 市内の小学5年生153人を対象に順次実施予定

【問合せ】

養父市教育委員会 養父市学校給食センター

課長 藤盛 瑞穂 担当者 羽瀧 彩、奥山 真裕美

電話 (079) 664-1801